

令和 7 年度ターンテーブルの運営状況等について（報告）

1. 令和 7 年度の主な取組実績

- ・メニューフェアの実施（旬の食材を使ったメニューフェア実施回数：16 回）
- ・徳島の「食・文化・観光」の魅力発信のため首都圏イベントに出店（2 回）
- ・ターンテーブルと協力店舗を連動させた徳島フェアの実施（1～3 月：4,980 人に PR）
- ・県産品の販路拡大を図るためのテストマーケティングや商談会を実施（商談件数：105 件）

2. 運営状況

- ・「施設利用者数」は、「宿泊」の利用者数は増加したものの、「飲食・物販」の利用者数が減少したことから、前年より減少した。
- ・「総売上高」は、前年より減少したものの、人件費・一般管理費（光熱費・資材費等）を抑えたことより、「経常利益」は増加した。
- ・「ターンテーブルがきっかけとなって県産食材等の取引につながった売上額」は、前年と同程度の約 3 億 6,500 万円となった。

【施設利用者数】

	R6 年度	R7 年度	前年度対比	
飲食・物販	56,446 人	55,395 人	▲1,051 人	98.1%
宿泊	14,701 人	15,076 人	375 人	102.6%
計	71,147 人	70,471 人	▲676 人	99.1%

【ターンテーブルの収支状況】

区 分	R6 年度	R7 年度	前年度対比	
総売上高①	302,624 千円	286,908 千円	▲15,715 千円	94.8%
飲食・物販	181,020 千円	159,518 千円	▲21,502 千円	88.1%
宿泊	121,603 千円	127,390 千円	5,787 千円	104.8%
売上原価②	78,411 千円	72,256 千円	▲6,155 千円	92.1%
人件費・一般管理費③	231,942 千円	213,579 千円	▲18,363 千円	92.1%
経常利益(①-②-③)	▲7,729 千円	1,074 千円	8,803 千円	113.9%

【ターンテーブルがきっかけとなって県産食材等の取引につながった売上額】

	R6 年度	R7 年度	前年度対比	
県産食材等の売上額	363,285 千円	364,530 千円	1,245 千円	100.3%

3. ターンテーブルの営業終了について

- 令和 7 年度に設置した「運営評価委員会」の意見や施設所有者の意向などを勘案し、ターンテーブルの営業は、令和 8 年 12 月末までとし、原状回復工事を実施の上、令和 9 年 3 月末で施設を明け渡す。

（参考）Japan. asset management 株式会社の管理施設を県が賃貸借・リノベーションし、株式会社 TurnTable へ転賃借

4. 今年度の主な取組み

- 開設から 10 年を迎えるターンテーブルの集大成として、首都圏における徳島の食の「認知度向上」、「魅力発信」、「販路拡大」にしっかりと取り組む。
- ・なると金時や阿波尾鶏等を用いた訴求力の高いメニューフェアやマルシェの実施、インバウンド向けメニュー開発、関係部局や県人会等と連携した交流イベントの開催
 - ・ターンテーブルへ食材を供給する県内生産者等の販路開拓に向け、首都圏飲食店チェーン等をターゲットとした商談会等のフォローアップ